

市の財政力を生かし市民要求に応えよ

9月議会報告 その② 一般会計決算



コスモスの季節です

平成29年度一般会計歳出歳入決算認定について、前号に続き指摘した点について報告させていただきます。

【6】「生活保護住宅扶助費引き下げ」が続く。生活費の切りつめに繋がっている。扶助費維持の手だてを考へるべきであった。

【7】「敬老祝い金の見直し」「驚宮福祉センターの改修」「栗橋『くりむ』のお風呂施設の再検討」など市民要望が出ていたものは積極的に検討すべきでした。

【8】済生会栗橋病院への「地域医療対策事業」運営補助金は、現地存続を維持するうえでも、終了とせず継続すべきでした。

【9】「こども医療費」の拡充は県内17自治体で進んでいます。実施を決断すべきでした。

【10】「被災者住宅再建事業」は全世帯に行き渡ることなく終了となった。「再建支援金」として被災者の皆さんに寄り添うべきでした。

【11】生活困窮者の方も安心して生活できる住宅維持のために、「市営住宅の拡大」をめざすべきでした。

【12】道路、市有地、などの除草は放置状態が多くみられました。関係部署との連携で積極的な対策を講じるべきでした。

【13】新エネルギー導入事業は対象者全員に交付できたことは評価します。今後も同様の対応を望みます。

【14】農業政策では、新たな積極的な取り組みが見られませんでした。基幹産業としての位置付けをしっかりとすべきでした。

【15】学校給食センターの建設では、自校方式を望む市民の声、要望を無視して進められました。「大規模センターありき、効率優先」でなく、子ども達にとって最善の給食は何かを検討し転換すべきでした。

【16】全体で問題なのは、「マイナンバー」の推進です。市の負担分は、この3年間で1億3454万6200円になります。本来、国が負担すべき費用です。個人情報漏洩などの問題から取りやめるべきです。マイナンバーを使つてのコンビニ交付は、1枚当たりの経費は4509円にもなります。費用がかかりすぎです。マイナンバー事業は国に中止を求めるべきです。以上の反対理由を指摘し、反対しました。

意見書を提案しました！

日米地位協定の見直しを求める意見書

1960年に結ばれた日米地位協定によって国民の生命・財産・人権が脅かされる状況が年々増大しています。全国知事会も国に申し入れた（右下に説明）「日米地位協定の見直しを求める意見書」を9月議会に提出しましたが、残念ながら否決になりました。

○意見書賛成議員（敬称略）7名

【日本共産党】杉野・渡辺・石田・平間

【市民の政治】猪股・川辺・田中

▲意見書反対議員（敬称略）19名

【新政久喜】川内・貴志・平澤・成田・園部・宮崎・新井・盛永・並木・鈴木井上・春山・柿沼

【公明党】大橋・長谷川・斉藤・丹野・岡崎

【無所属】田村

議案 70 号 平成 29 年度久喜市水道事業会計決算認定 平成 29 年度水道事業決算

水道水を供給するために必要な、経費の費用項目に「減価償却費」がある。平成29年度を見るとその費用は、水道設備の建設改良を前倒しで実施した結果、料金改定時の2倍以上、11.6億円になっている。それでも平成29年度、事業運営の結果は、純利益7.2億円という結果となった。この一部は現金預金に積まれ、預金残高は25.6億円へと増加している。借入金も計画通り約3億円を返済、借入残高は減少している。

水道料金 引き下げは可能

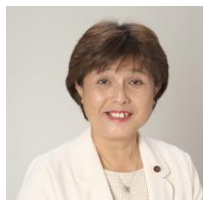
水道料金の引き下げは十分可能で、市民の暮らしを考え、県内でも高い水道使用料は引き下げるべきです。又、給水停止を1126世帯で実施、災害時に一番求められたのは「水道水」でした。給水停止はやめるべきです。

全国知事会では、2年ほど前に沖縄県の翁長知事から「沖縄の基地負担はもう限界、公平性の観点からも全国の問題として地位協定見直しを協議してほしい。」との要請を受け、研究をしてきたものです。

田中市政の転換なしに市民の利益は守れない！

渡辺まさよ

久喜市所久喜
705-3



障がい者雇用の久喜市の現状は

問 国の中央省庁で長年にわたり障がい者雇用率の水増しが問題となった。久喜市での現状は。また、企業はどうか。

答 本市では、厚生労働省のガイドラインに従い、障害者手帳の所有を確認した方のみ雇用率に算入している。雇用率は3.08%。企業については市の管轄ではないが、50人以上従業員企業で2.17%と聞いている。

公共施設の和式トイレの前面に手すりを

問 公共施設の和式トイレを洋式化へ改修が進んでいるが、実際にはすぐに改修されない。改修が進まない和式トイレの前面に手すりをつけて高齢者にやさしい施策を望むが。

答 菖蒲文化会館・鷺宮コミセンは洋式化を検討。菖蒲支所・鷺宮支所は洋式化と合わせ手すりを検討。各公民館も洋式化を進めると共に手すりの設置も検討していく。

熱中症対策を生活保護世帯に

問 今年猛暑が続き、クーラーがあったのに料金滞納で電気を止められて、生活保護受給者の方が死亡する事故があった。クーラーの設置、見回り等しっかり実施して欲しい。

答 平成30年以降保護開始世帯に、費用支給ができるようになった。保護世帯で83.5%が設置されている。高齢者中心に熱中症予防の訪問をした。今後も注意喚起、情報提供をしていく。

平間 ますみ

久喜本町8-4-1



市道鷺宮414号線・市道久喜2071号線の対策

ロジャースからアリオ鷺宮に通ずる市道は、危険な状況にあり、改善を求めました。

問 拡張工事が進まないのであれば、不幸な事故が起こる前に、歩行者・自転車専用道路の設置が必要であると考えてるが。

答 狭い道路になっていることは重々認識しているが、専用道路を設けるには拡幅工事が必要であり難しい。

問 大幅な道路拡張を要望しているのではない。人命を守るためにも至急対応されることを要望する。

市内に公共トイレの設置を要望

くりはし八福神巡りの際、一番困ったのがトイレであった。観光の場所や、途中に設置してほしいとの要望を頂きました。

問 公園や名所散策ルート上に設置の検討をすべきと考える。

答 トイレ区間の最長区間は、約2.4キロメートル、徒歩にすると35分ほどで必要ないと考えている。

オスプレイの配備中止を

横田基地にオスプレイ5機が配備され、関係自治体の長からも遺憾の声が上がっています。

問 オスプレイに関する相談窓口を設置すべきだ。

答 現在のところ考えていない。

問 防衛相にオスプレイの横田基地への配備中止を申入れるべき。

答 本市として配備中止の申し入れは考えていない。

石田としはる

栗橋東5-7-2



済生会栗橋病院の存続にむけ市の積極的な対応を求める

問 これまでの協議の内容は。

答 「再整備には22億円の設備更新費用や、専門スタッフの確保が難しく実現は困難」との意思が示された。

問 済生会は市長と相談するとしていた。市は具体的な支援を示したことがあるのか

答 支援をするスタンスはあったが、済生会から「2つの病院経営は厳しいとの考えが示された」と捉えている。

問 栗橋病院の再整備、今後の検討は。

答 地域医療の存続に向け、お互いに知恵を出し、本市ができる最大限の努力を行うことを約束した。

問 栗橋の現在地は絶対廃虚にはしない。その覚悟を確認したい。

答 あらゆる可能性を排除せず、この地の医療の存続に向けて努力していく。

◆液状化対策工事 地下水位の低下に伴う地盤沈下、再液状化防止の効果、沈下による下水道への影響など質問。

◆草の伸び放題は改善すべき 治安面、交通安全面、公園としての機能面、冠水の点などからも適切な管理が求められており改善を求め質問しました。

杉野おさむ

桜田3丁目
7-1-504



東海第2原発の再稼働に反対し、事故への備え強化を

3.11大震災のとき、東海大2原発も津波で重大事故直前だった。水戸市民の受け入れ問題や、久喜市自身が「被災地」となることなど、リアルな対策が必要になる。

問 久喜市は水戸市から避難民3800人をどこに受け入れ予定か。また期間や、1人当たりの広さはどれほどか。

答 鷺宮高校など6校に3857人。各校の体育館に1ヵ月間の予定だ。1人当たりの広さは国から2平米とされている。久喜市では3平米で積算した。

問 2平米では寝返りするのがやっとだ。これまでの被災経験では、避難所で命を落とす場合も多い。「スフィア基準」で広くすべきだ。（国際赤十字が示す避難所の国際基準）また、3.11の経験からも、避難生活が1ヵ月で済むわけがない。実際には、何年もかかっている。

問 東海大2原発が事故を起こしたときの最悪の想定で、久喜市民のいのちと暮らしを守るのが市のしごとだ。老朽化した原発は、再稼働をさせないという声を国に上げることこそ久喜市民を守ることになるのではないか。

答 国に対して本市は意見を述べる権限はないと考える。

◆この他、河川決壊など自然災害対策の強化を求めました。